

総務委員会資料

所管事務の調査（報告）

川崎市公共施設白書について

資料 川崎市公共施設白書について

令和2年12月8日

総務企画局

川崎市公共施設白書について

1 施設白書の概要・策定趣旨

●本市では人口増加や高度経済成長を背景に、昭和40年代から50年代にかけて、多くの公共施設を整備してきました。これらの施設は老朽化に伴い、今後、更新時期を迎えることから、資産マネジメントの取組である、「施設の長寿命化」、「資産保有の最適化」、「財産の有効活用」の取組を戦略的に進め、市民に対して社会状況に応じた安全・安心な公共サービスを提供していく必要があります。

そのために、本市の公共施設に関する情報が集約された施設白書を策定することで、施設分類別の現状と課題を明らかにするとともに、施設を所管する職員に対して施設を客観的に分析し評価するよう意識づけを図り、資産マネジメントの取組や考え方の浸透につなげます。

●施設白書では、本市の公共建築物を施設の用途や目的別に58分類に区分した上で、利用状況や運営コスト等を掲載するとともに、インフラ施設については、道路、橋りょう、河川等の6つの分類に区分した上で、運営コストや維持管理手法等を分類別に掲載します。

また今後、更新時期を迎えた施設に対して資産保有の最適化を進めるにあたり必要となる情報として、施設が保有する同一の機能に着目するとともに、地図上に施設の配置を整理し掲載します。

●施設白書を基に施設分類別の現状及び課題をとりまとめ、第3期実施方針の取組の方向性を策定し、その後、地元説明を踏まえながら、第3期実施方針案をとりまとめ、パブリックコメントを実施した上で、令和4(2022)年3月頃に第3期実施方針を策定します。

2 施設白書の掲載内容イメージ

(1) 施設白書の構成イメージ

表 施設白書の構成

章立て	掲載内容
第1章 本書の目的	<ul style="list-style-type: none"> 施設白書の目的 位置づけ 対象施設 施設白書の構成と記載内容
第2章 川崎市の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市の概況 人口の状況 財政の状況 施設の老朽化状況 経費の状況

第3章 施設分類別の現状	<p>公共建築物とインフラ施設に分けて、施設分類別に施設情報を整理します。</p> <p>○公共建築物 【対象】市民活動施設、図書館、体育施設、文化施設など施設の用途や目的別に分類された58分類 【掲載内容】ア 施設概要、イ コスト状況、ウ 利用状況、エ 配置状況 ⇒ 2章(2)にイメージを記載</p> <p>○インフラ施設 【対象】道路、橋りょう、河川、公園、港湾施設、上下水道施設の6分類 【掲載内容】施設概要、維持管理手法、コスト状況</p>
第4章 機能別の現状	58の分類とは別に、設置目的が異なる施設が同一の機能(プールなど)を有している場合に着目し、その機能を有する施設一覧と配置の状況について掲載します。
第5章 地域別(区等)の現状	公共建築物の配置状況を地図上にプロットし、地域別に整理した情報を掲載します。

(2) 施設白書の掲載イメージ

ア 施設概要

施設を市民活動施設や図書館など58分類に整理した上で施設に関する基礎情報を掲載します。
なお、借受施設についても必要な情報を掲載します。

施設名称	所在地	土地		建物全体			主たる建物 (※)				複合施設 区分	併設施設
		敷地面積 (㎡)	所有形態	棟数	延床面積 (㎡)	所有形態	構造	階層	建築 時期	経過 年数		
A施設	○○○	○○○	○○○	○	○○○	○○○	○○	○○	○○	○○		
B施設	△△△	△△△	△△△	△	△△△	△△△	△△	△△	△△	△△	△△△	△△△

(※) 主たる建物は、施設の中に複数の建物がある場合、延床面積が最も大きい建物を示しています。

イ コスト状況

施設毎の運営手法、収入、コストの情報を掲載します。

(単位：千円)

施設名称	運営手法 直営 指定管理 PFI など	収入		維持管理費										事業運営費		減 価 償 却 費 C	総 コ ス ト A + B + C	大規模改修 解体費		指 定 管 理 料	そ の 他 管 理 料					
		使 用 料	手 数 料 他	燃 料 費	光熱水費			修 繕 料	建 物 保 険 料	建物管理 委託			使 用 料 賃 借 料	工 事 請 負 費	備 品 購 入 費			維 持 管 理 費	合 計 A			人 件 費 概 算	事 務 運 営 費	合 計 B	委 託 料	工 事 請 負 費
					電 気 代	ガ ス 代	水 道 代			保 守 管 理	建 物 設 計	維 持 管 理														
A施設	直営																									
B施設	指定管理																									

ウ 利用状況

施設の種類に応じて利用内容の指標を設定し、施設の利用状況を掲載します。

例) 分類 1

施設名称	利用状況			貸出状況					運営状況
	年間利用者数	年間利用団体数	年間実団体数 (名寄せ)	年間貸出利用者数	年間貸出実利用者数 (名寄せ)	利用登録者数	蔵書数	年間貸出冊数	年間運営日数
A施設	〇〇〇 人	〇〇〇 団体	〇〇〇 団体	〇〇〇 人	〇〇〇 団体	〇〇〇 人	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇 日
B施設	△△△ 人	△△△ 団体	△△△ 団体	△△△ 人	△△△ 団体	△△△ 人	△△△	△△△	△△△ 日

例) 分類 2

施設名称	利用状況				運営状況
	年間利用者数	年間実利用者数 (名寄せ)	年間利用団体数	年間実利用団体数 (名寄せ)	年間運営日数
A施設	〇〇〇 人	〇〇〇 人	〇〇〇 団体	〇〇〇 団体	〇〇〇 日
B施設	△△△ 人	△△△ 人	△△△ 団体	△△△ 団体	△△△ 日

エ 配置状況

施設の種類毎に施設の場所を地図上に掲載し、市全域における配置状況を掲載します。

例) 市民館・図書館



- 1 教育文化会館
- 2 川崎図書館
- 3 教育文化会館大師分館・川崎図書館大師分館
- 4 教育文化会館大師分館・川崎図書館田島分館
- 5 幸市民館・図書館
- 6 幸市民館日吉分館・幸図書館日吉分館
- 7 中原市民館
- 8 中原図書館
- 9 高津市民館
- 10 高津図書館
- 11 高津市民館橋分館・高津図書館橋分館
- 12 宮前市民館・図書館
- 13 宮前市民館菅生分館
- 14 多摩市民館
- 15 多摩図書館
- 16 菅閲覧所
- 17 麻生市民館・図書館
- 18 麻生市民館岡上分館
- 19 麻生図書館柿生分館

3 今後の進め方

- 今年度（令和2（2020）年度）については、以下の取組を実施
 - ・施設分類別に公共建築物の利用状況や運営コスト等を整理した施設白書を策定し、当該白書を基に、施設分類別の現状及び課題を整理
- 令和3（2021）年度については、以下の取組を実施
 - ・施設白書を基に、資産マネジメント第3期取組期間の実施方針の取組の方向性に策定し、令和3（2021）年4月頃に施設分類別の現状及び課題と併せて報告
 - ・その内容に基づき、地元説明を踏まえながら第3期実施方針案をとりまとめ、パブリックコメントを実施した上で、第3期実施方針を令和4（2022）年3月頃に策定
- 令和4（2022）年度については、以下の取組を実施
 - ・策定した第3期実施方針を基に、資産保有の最適化をはじめとした資産マネジメントの取組を推進

図 今後のスケジュール

項目	令和2年度					令和3年度															
	11月		12月		1月	2月		3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
第3期実施方針	第2期取組期間の取組内容検証					本市施設白書公表					施設分類別の現状と課題精査	取組の方向性の公表					施設白書公表				
	第3期実施方針の取組の方向性案作成					施設白書作成						業案調整・精査 (個別施設に関する記載の検討等)					第3期方針案策定作業				
	第3期実施方針の取組の方向性案作成					施設白書作成						課題に対する対策の検討					市民意見聴取 (オープンハウス型など) ※時期・手法は今後検討				
議会（常任委員会）	報告					報告					報告					報告					